



我孫子 洋昌 議員

「2030年」は達成目標として、 いま困っている人への対策は

町長 毎年しっかり検証して進めたい

公区制度

質問 約60年続く公区制度は、人口減と高齢化が続く状況のもと、①公区役員や活動の担い手不足の認識と、②公区設置条例の見直しについて伺う。

町長 ①公区長へのアンケート調査を基に課題解決に向け議論を進めたい。②公区長との意見交換や、公区の意向も踏まえて今後検討したい。

再質問 時間が迫っている問題だ。新しい公区のある方を検討すべきではないか。
町長 公区は災害時など不可欠な組織。住民の負担を軽減し持続可能なものとする方法を考えたい。

事業や政策の進捗管理

質問 ①菓子製造施設整備事業の進捗状況。②「SDGsパートナーシップセンター」の設立及び検討状況。③町内商工業の現状把握及び商工会との連携状況。④2020年国勢調査における

る人口目標と取組状況及び達成見込みについて、それぞれ伺う。

①菓子製造施設整備事業
町長 現在、連携企業からの宿題への対応と事業推進に向け協議を行うため調整中である。

再質問 「宿題」とは何か。
政策推進課長 (1)事業の支障となりうることは、あまり望まない点
(2)町の情熱が十分伝わってこない点。
(3)町の今後の施策がどう反映されるか不明な点。

再質問 町長は、町内を束ねて協議に臨むとともに、関係団体との信頼関係をしっかり構築すべき。協議後の予定は。
政策推進課長 遅くとも11月上旬には着工し、来年4月末にプレオープンできるように検討したい。

②「SDGsパートナーシップセンター」の状況
町長 本年3月に政策推進

課に設置した。
再質問 町民へ広く告知していない理由は。
政策推進課長 事業の実施により、具体的に町民の皆さんに広く知っていただき、理解が深まるように普及展開を進めたい。

③町内商工業の現状把握等
町長 直近3年間で8件の廃業を把握。商工会事務局や会員との日常的な情報交換や共有を図り、連携をとっている。

再質問 後手を踏んでしまう対応ではないか。
町長 中小企業振興基本条例を今年度改正させていただき、明年度執行していきたい。

再質問 今年度の対策を設けて取り組み、町民の不安を取り除くべきではないか。
町長 住民の理解を得られた中での業種、業態について情報収集、共有しながら今後も進めたい。

④人口目標と取組状況ほか

町長 目標は無いが「下川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂で人口推計や分析を行いたい。
再質問 「2030年にあるべき姿」を掲げているが、困っている人は今困っている。10年経てば対策が出来るからいいということではなく、毎年毎年の成果の積み重ねが大事ではないか。

町政課題一つ一つに対する、いわゆる「納期管理」、そして事業の進捗管理をしっかり進めていただきたい。
町長 様々な施策やインフラのうち、形骸化したり、傷んだもの等々、時代の変遷の中であつたかと思う。今後は選択集中、あるいは一定程度のスクラップビルドというのをしっかり考える時期にきていると思う。8次の行政改革の中でしっかり進めながら、下川町のありたい姿を毎年検証し、積み重ねながら、2030年の目標に向けて進めていきたい。